

開催
案内



RECOVERY FORUM 2015

2015

8/21-22
[金] [土]

リカバリー全国フォーラム2015





リカバリー全国 フォーラム2015

リカバリー志向
サービスへの転換

当事者参加による
社会的意識決定 Part3

7回目を迎えるリカバリー全国フォーラムは、毎回2日間にわたり1400人超の参加者により開催されています。回を重ねる中で、当事者・家族・精神保健福祉・医療関係者・市民など職種・所属を超えた仲間が全国から集い、活発な議論を行う場として定着してきました。

今回のテーマは、昨年に引き続き「リカバリー志向サービスへの転換：当事者参加による社会的意識決定 Part3」。政策決定過程での当事者参加から、福祉サービスの利用や臨床場面での当事者参加まで、さまざまな意思決定の機会があります。リカバリー志向サービスへの転換をはかるために、まずは当事者参加による意思決定をどう実現させていくか？ 昨年のテーマをさらに深めるべく、それぞれの現場でのリアルな場面を想定しながら語りあいましょう。

皆さまが、全国から積極的にご参画いただくことを心よりお待ちしております。

2015
8/21-22 [金] [土]

主催 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (コンボ) 公益財団法人 精神・神経科学振興財団

会場 帝京平成大学 池袋キャンパス 本館
▶ JR 池袋駅東口から徒歩 12 分

定員 1200名 ▶ 6月中旬申込受付開始

リカバリーフォーラム

検索

<http://recoveryforum.net/>

FOLLOW US ON TWITTER
@recoveryforum

LIKE US ON FACEBOOK!
facebook.com/recoveryforum

後援団体

*昨年度の後援団体に申請中、順不同・法人種別略

- 内閣府政策統括官 (共生社会政策担当) ● 厚生労働省 ● 東京都 ● 高齢・障害・求職者雇用支援機構 ● 日本障害者協議会
- 全国精神保健福祉社会連合会 ● 全国精神障害者団体連合会 ● 全国社会福祉協議会 ● 日本ソーシャルワーカー協会
- 日本精神科看護協会 ● 日本作業療法士協会 ● 日本看護協会 ● 日本精神保健福祉士協会 ● 全国保健所長会
- 全国精神保健福祉センター長会 ● 日本精神科病院協会 ● 日本精神神経科診療所協会 ● 全国精神障害者地域生活支援協議会
- きょうされん ● 全国精神障害者就労支援事業所連合会 ● 日本精神保健福祉連盟 ● 日本精神保健福祉士養成校協会
- 日本障害者リハビリテーション協会 ● 日本精神神経学会 ● 日本総合病院精神医学会 ● 日本精神保健看護学会
- 日本精神障害者リハビリテーション学会 ● 心理教育・家族教室ネットワーク ● 日本社会福祉学会 ● 東京都社会福祉協議会
- 日本 EAP 協会 ● POTA ● 日本学校保健会 ● 全国養護教諭連絡協議会 ● NHK 厚生文化事業団
- 東京都精神障害者団体連合会

企画委員長

高橋清久 (公益財団法人 精神・神経科学振興財団)

企画委員

*敬称略・順不同

- 相澤和美 (地域精神看護ケアねっと / 国際医療福祉大学) ● 有村律子 (埼玉県精神障害者団体連合会・ポプリ) ● 安西信雄 (帝京平成大学)
- 伊藤順一郎 (メンタルヘルス診療所しっぽあーれ / NPO 法人地域精神保健福祉機構)
- 宇田川健 (NPO 法人地域精神保健福祉機構) ● 大島巖 (日本社会事業大学 / NPO 法人地域精神保健福祉機構) ※企画委員会総括幹事
- 加藤大慈 (戸塚西口りんどうクリニック / 横浜市立大学附属病院精神科) ● 川口敬之 (NPO 法人 POTA / 北里大学)
- 香田真希子 (目白大学) ● 島本禎子 (杉並家族会) ● 竹内政治 (さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ / 日本ピアスタッフ協会)
- 田中直樹 (NPO 法人あおば福祉会 / NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会) ● 仲野栄 (一般社団法人日本精神科看護協会)
- 福井里江 (東京学芸大学) ● 藤野英明 (横須賀市議会議員) ● 古屋龍太 (日本社会事業大学)
- 増子徳幸 (一般社団法人てとてリンクよこはま訪問看護ステーション) ● 増川信浩 (WRAP ファシリテーター)
- 四方田清 (公益社団法人日本精神保健福祉士協会 / 順天堂大学)

事務局



COMHBO 特定非営利活動法人
地域精神保健福祉機構
Community Mental Health & welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <http://comhbo.net>

8/21 [金]

9:30	受付
10:00 - 10:15	主催者挨拶
10:15 - 12:00	<p>トークライブ</p> <p>リカバリー全国フォーラムと「私のリカバリー」2015 リカバリーフォーラム出演者、参加者などによるリレートーク！</p> <p>司会 宇田川健 (NPO 法人コンボ) & 藤野英明 (横須賀市議会議員)</p>
12:00 - 13:00	<p>昼休み</p> <p>* 12:50 - 13:00 ご案内タイム</p>
13:00 - 15:00	<p>記念講演</p> <p>日本におけるピアスタッフの展望と課題(仮)</p> <p>講師 原田幾世 (日本ピアスタッフ協会会長：仙台) 引地はる奈 (日本ピアスタッフ協会副会長：福島) 磯田重行 (日本ピアスタッフ協会副会長：福岡)</p> <p>座長 高橋清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団)</p>
15:15 - 17:45	<p>分科会</p> <p>特別セミナー</p> <p>* 詳細は次ページをご覧ください</p>
18:15 - 20:15	懇親会

特別セミナー

8/21 [金] 15:15 - 17:45 予防からリカバリーまで 企業における効果的なセルフケアとラインケア

本セミナーは、本年12月より施行される予定の企業における従業員のストレスチェック制度についてとりあげます。制度のポイントおよび運用上の留意点、企業におけるストレスマネジメントの実践とストレスケア制度の導入の課題、そして、リカバリー視点の企業における効果的なセルフケアとラインケアについて、それぞれの立場から語っていただくシンポジウムです。企業の人事関係者、医療従事者、就労支援に携わる福祉関係者、そして、当事者の皆さんのご参加をお待ちしております。

講師 大野裕 (認知行動療法研修開発センター：精神科医)
渡辺洋一郎 (日本精神神経科診療所協会：日本精神科産業医協会：精神科医)
企業の人事担当者

司会 高尾和俊 (株式会社インターリスク総研)

参加費：特別セミナーのみに参加：10,000円 *リカバリー全国フォーラム参加者は無料

8/22 [土]

9:00	受付
9:30 - 12:00	<p>シンポジウム</p> <p>リカバリー志向サービスへの転換 当事者参加による社会的意識決定 part3</p> <p>座長 大島巖 (日本社会事業大学)</p>
12:00 - 13:00	昼休み
13:00 - 15:30	<p>分科会</p> <p>* 詳細は次ページをご覧ください</p>
15:45 - 16:30	<p>クロージング</p> <p>司会 伊藤順一郎 & 宇田川健 & 大島巖 (NPO 法人コンボ) 高橋清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団)</p>

1 リカバリー宣言2015

リカバリー宣言、今年は記念講演に出演したピアサポーターの皆さんとのコラボ企画です。記念講演では聞けなかった話を聞けるかも。また、直接話もできます。2015年、リカバリーの鍵を探す旅に出ませんか？おしまいは、一人ひとりの「リカバリー宣言」をします。

増川ねてる&生田りこ(WRAPファシリテーター)、記念講演出演者の皆さん、他

ワールド
カフェ

2 精神障がいを持つ親への育児支援と育てられた子どもを支える支援

精神障がいがあっても、治療を受けながら出産し、子育てすることも当たり前となりつつあります。しかし、精神障がいを持つ親とその子どもへの社会的支援は大変不十分で、子ども自身も精神疾患のハイリスクな状況に置かれています。また、十分な養育が受けられなかった子どもは、大人になってからも、様々な生きづらさを抱えて孤立しています。この分科会では、子どもの立場の方、子育て中の当事者の方、子育て支援に関わる地域の支援者の方など、多様な立場の方をお迎えして、これからの子育て支援のあり方を考えます。

横山恵子(埼玉県立大学)、藤山正子(東京大学大学院)、岡田久実子(さいたま市精神障害者家族会連絡会)、子どもの立場の方、子育て中の当事者の方、地域の支援者の方

シンポ
ジウム

3 私達がピアスタッフの仕事に魅せられる理由 ～葛藤と共に価値と可能性を模索する～

日々、困難や葛藤に直面しながら、仕事を続けるピアスタッフ。ピアスタッフは何に突き動かされて仕事をしているのか、また何を大切に仕事をしているのか、互いの語りに耳を傾け、分かち合ってみよう。現在の立場や経験は問いません。どなたでもお越しください。

日本ピアスタッフ協会：川村有紀(障害者相談支援事業所てれんこ)、眞嶋峯(地域活動支援センターもくせい舎・ゆい)、古関俊彦(NPO法人颯埜)、相川章子(聖学院大学)、竹内政治(さいたま市精神障害者当事者会ウイズ)

ワーク
ショップ

4 IPS:仕事とリカバリー (IPS = 個別就労支援プログラム)

精神に障害のある人の就労が注目され大きく伸びてきている今、改めて自分にとって仕事って何か考えてみませんか？自分らしい生活のためにはどんな働き方をしたらよいのか、自分らしい働き方を勤務先とどう折り合うか、自分らしい暮らしの為に仕事以外の大切なものって？ヒントがイロイロ見つかります！

池田真砂子(社会生活サポートセンターこみっと)、澤田恭一(就労支援センターFLaT)、本多俊紀(NPO法人コミュニティ楽創)、香田真希子(目白大学)、IPS利用者、他

シンポジウム
&
ワークショップ

5 ピアサポートの部屋 ～メタ元気+サークルズ2015～

この分科会は、ピアサポートグループに興味のある方のための分科会です。まず、ピアサポートグループの立ち上げ運営マニュアルについて紹介します。その後、参加者全員が小グループでのピアサポート体験の分かち合いを経験します。NPO法人コンボのピアサポート盛り上げ企画「PNPP(ピアネットワーク・プロモーション・プロジェクト)」にご参加いただいた皆さんにも、ご協力をお願いしています。

宇田川健(NPO法人コンボ)、有村律子(埼玉県精神障害者団体連合会ポプリ)、PNPPに協力していただいた皆様

ワーク
ショップ

6 IMRでリカバリー! 2015 ～IMRの体験談を中心にWSMの話題まで～(IMR: 疾病管理とリカバリー、WSM: 健康自己管理)

IMR や WSM はリカバリーの実現を目指すときにとても有用なプログラムです。IMR では最初にリカバリーゴールをつくり、それに向けてみんなで語り合いながら多機能なデイクア、多様なプログラムを展開しているデイクアをテーマに参加型シンポジウムを行います。当日は、デイクアに訪問支援や就労支援、ピアサポート等々を組み合わせて、実施しているデイクア従事者から報告をいただき、これからのデイクアを皆さんとともに考えます。

内山繁樹、加藤大慈、木村幸代、中村亮太、藤田英美、古屋喜代子、三品桂子、森田和美、吉見明香、渡辺厚彦、生活支援センター西・鷹岡病院・日向台病院・横浜舞岡病院の皆さん

シンポ
ジウム

7 デイクアの躍進!! ～多機能・多種多様なプログラムを実施するデイクア～

せっかく行くなら、楽しいデイクアがいい。でも楽しいだけではなく同じ目標に向かって高めあえる仲間が欲しい。この分科会では、それらの願いを実現するための多機能なデイクア、多様なプログラムを展開しているデイクアをテーマに参加型シンポジウムを行います。当日は、デイクアに訪問支援や就労支援、ピアサポート等々を組み合わせて、実施しているデイクア従事者から報告をいただき、これからのデイクアを皆さんとともに考えます。

肥田裕久&木村尚美(ひだくニック)、大山早紀子(立教大学)、多機能なデイクア・多様なプログラムを展開しているデイクア従事者の皆さん

シンポ
ジウム

8 コミュニケーションの生き辛さを可能性に変えていく、イトコサガシの『自分らしく』超初心者向けワークショップ

ワークショップのテーマは、全て自分の好きなもので OK! わかりにくくても、マニアックでも、まとまってなくとも、自分らしく OK! 好きなものの中から自分らしさを試していきたいと思います。自分らしさの中からコミュニケーションの気付きを得ていきたいと思います。目指すは 3 年後の自分への種まき。イトコサガシが 900 回以上の試行錯誤の末に新開発した『はじめの一步』ワークショップ、この機会にぜひご参加ください。

冠地情(東京都成人発達障害当事者会イトコサガシ代表)、はーみあ(イトコサガシ・ファシリテーター)

ワーク
ショップ

9 医療の場にリカバリー志向の風が吹く ～ピアサポーター活動(地域移行・地域定着支援)からの報告～

リカバリー志向の理念やサービスが育ちにくい医療の場において、地域で生活している当事者が病棟を訪問し、入院している方の地域移行支援や希望・夢の実現に向けた関わりを行うピアサポート活動が根づき始めています。今回は地域活動支援センター等に所属する当事者(ピアスタッフ)の活動に着目し、医療専門職とコラボしながら本人の意思に寄り添うピアサポートの実践より、リカバリー志向サービスのあり方を学んでいきたいと思います。そして、医療の場にリカバリー志向の風を送り込みませんか。

相澤和美(地域精神看護ケアねっと:国際医療福祉大学)、川口敬之(NPO法人POTA:北里大学)、佐々木理恵(すべいろピアスタッフ)、尾山篤史(神奈川県地域移行・地域定着支援事業ピアサポーター)、和田公一(旭区地域生活支援拠点ほっとほっとピアスタッフ)、塩田由美子(はらからの家ライフパートナー)、他

シンポジウム
グループ
ディス
カッション

10 今あらためて人権を問う

精神科医療において増え続ける強制入院と隔離・拘束。昨年度施行された改正精神保健福祉法は、地域移行の促進をうたいながら、実際は医療保護入院の要件を緩和し、強制入院へのハードルを下げたといえます。さらに、長期入院患者を社会的入所へと横滑りさせる「地域移行支援型ホーム」が制度化されました。この分科会では、精神保健指定医資格の不正取得や患者情報の紛失等、次々と発覚する重大問題に焦点を当てながら、精神障害のある人たちの人権を問い直します。

長谷川利夫(杏林大学)、関口明彦(全国「精神病」者集団、権利主張センター中野)、ジャーナリストの方、田中直樹(全国精神障害者地域生活支援協議会)

シンポ
ジウム

11 学校メンタルヘルスリテラシー教育 ～各団体での取り組みをシンポジウムで～

WHO は精神疾患を 3 大疾患に位置づけており、海外では精神保健に対する普及啓発活動に力が入られています。とりわけ学校での精神保健教育メンタルヘルスリテラシー (MHL) は、スティグマの軽減と早期介入の双方への視点から積極的に取り組まれています。私たち学校 MHL 教育研究会では、若者にメンタルヘルスの知識を届ける活動をしています。この分科会では、各団体で MHL 活動をされている方々にお集まりいただきシンポジウムを実施します。

学校MHL教育研究会：箕宗一(聖隷クリストファー大学)、上松太郎(横浜市立大学付属市民総合医療センター・看護師)、久下明美(こころ・あんしんlight)、小塩靖崇(東京大学院教育学研究科・看護師/保健師)、他

シンポ
ジウム

WRAP - 元気回復行動プラン

ワーク
ショップ

「私の元気を私が作る」・・・元気回復行動プラン《WRAP》。この分科会では、「元気」をテーマに、お互いの経験から学びあいます。進行は、全国の「WRAP ファシリテーター」達。学びと出会いの場によこそ！！

全国のWRAPファシリテーターの皆さん

12

地域移行と病床転換型施設を考える ～それぞれの立場から脱施設化の理念を語り合う～

ワールド
カフェ

精神科病院に長期入院されている方々の地域移行がなかなか進まない中で、精神科病棟転換型居住系施設として「地域移行支援型ホーム」が省令改正により登場してきました。「精神病床を削減し地域移行の突破口を開くもの」、「病院敷地内退院では地域移行と呼べない」など、激しく議論が対立する中で、改めて「地域移行とは何か？」が問われています。当事者、家族、病院、地域、行政等、参加者それぞれの立場から、改めて脱施設化の理念と方策を語り合います。

古屋龍太(日本社会事業大学)、中越章乃(神奈川県立保健福祉大学)、小佐野啓(相談支援センタークレイ)、他

13

アンチスティグマとリカバリー ～内なる偏見をさらけ出そう！内なる偏見を克服するには？～

シンポ
ジウム

今回は、これまでの「アンチスティグマ」分科会で、重要な問題とされながらもあまり取り上げることがなかったテーマ「内なる偏見」を真正面から取り上げます。当事者、家族、医療従事者、それぞれの立場から、どのように「内なる偏見」と向きあったのか、語っていただきます。そして、どうやったら克服できるのかを、参加者の皆さんとともに考えたいと思います。

宇田川健(NPO法人コンボ)、島本禎子(杉並家族会)、小笠原勝二(西多摩虹の会)、澤田優美子(日本社会事業大学大学院)、横山恵子(埼玉県立大学)

14

ACTなどの精神科訪問支援 ～拠点の立ち上げ・維持・発展のために～

シンポ
ジウム

障害による様々な苦勞を抱えた方々に対する訪問支援の重要性が認知されてきています。しかしその支援の担い手は常に不足しており、支援の質はさることながら必要なサービスを確保することも困難です。この状況を改善するべく、当事者・家族・支援者が各地でどのような志を持ち、拠点の立ち上げや維持のために働きかけたのかを、皆さんと共有します。そして、今後一人一人が無理なく地域支援の担い手となるように理解を深めていきます。

増子徳幸(リンクよこはま訪問看護ステーション)、訪問支援の拠点づくりを支援する家族会メンバーの方、訪問支援を展開する法人の理事の方(家族の立場)、訪問支援のスタッフの方、訪問支援にかかわるピアの方、等

15

これからの働き方を語ろう

ワーク
ショップ

働く人のミーティングCATは、千葉県市川市で月に一度、主に精神障害がある働く人が集まり、仕事の悩みを話したり、解決方法を話し合ったりしています。この分科会では、CATメンバーから就職活動や仕事の体験談をお話します。また、参加者の皆さんと、これからの働き方について語り合いたいと思います。

働く人のミーティングCAT実行委員、NPO法人NECSTスタッフ

16

家族のピアサポート

ワーク
ショップ

家族のピアサポートの活動として、家族による家族学習会を2007年度から実施しています。今年度は全国で50か所以上の家族会が実施予定で、きょうだいの立場や、摂食障害の家族といった形での取り組みも始まっています。また、精神科病院で家族学習会を行うという新しい取り組みも今年度から始まりました。この分科会では家族学習会の概要や、上記の取り組み状況の報告、家族学習会のデモを実際に行い、家族、支援者のご理解をえられるような内容をお伝えします。

平野章夫(横浜市鶴見区家族会のぞみ)、井沢悦子(横浜市栄区家族会さかえ会)、天川智子(さいたま市もくせい家族会)、家族学習会普及事業企画委員:倉澤政江(横浜市西区家族会もみじ会)、柏木彰(横浜市中区みなと会)

17

権利擁護とリカバリー

シンポ
ジウム

この分科会は、「権利擁護」をキーワードとして、精神科医療や地域社会での様々な障壁をなくすことを目的としています。精神障害者の社会参加と共生社会の実現に向けて、私たちが取り組むべき課題を皆で討論し意見交換しましょう。

四方田清(日本精神保健福祉士協会)、松田裕児(成田市社会福祉協議会)、当事者、ご家族、弁護士、精神科医師等

18

希望とリカバリーののための診察サポートツール「SHARE」(SHARE:Support for Hope And REcovery)

ワーク
ショップ

私たちは、リカバリーに役立つ診察を実現するため、当事者と精神科医の共同意思決定(Shared Decision Making)を支援するパソコンツール「SHARE」を開発し、試行的研究を行っています。当日は、①「SHARE」の紹介、②今実際に職場で使っている皆さんの体験談、③「SHARE」のプロセスの一部を体験する時間、という流れで進めます。ぜひ、未来の診察を体験しにきてください。

SHAREに関わっているピアスタッフの方、藤田英親&岡本和子(国分寺すずかけ心療クリニック)、伊藤順一郎(メンタルヘルス診療所しつぽふあーれ)、福井里江(東京学芸大学)、他

19

リカバリーの視点から薬と体の健康の関係を考える

シンポ
ジウム

NPO法人コンボでは、設立以来薬の適正な使用を訴えてきました。その背景には多剤大量処方による身体合併症や突然死の問題が頻発していることがあります。国際的にも「薬は管理をして使うべきもの」、「薬だけに頼らない医療の必要性」などが重要であると言われ始めています。この分科会では、リカバリーの視点から、薬と体の健康の関係を考えると共に、国際的にもこうした考え方が当たり前になってきている事を確認する場としたいと思います。

渡邊博幸(千葉大学)、西田淳志(東京都医学総合研究所)、黒川常治(当事者)、他

20

公募企画 PSTで支援職から始めるリカバリー ～専門職の当事者研究で現場をリカバリー思考へ変革～

ワーク
ショップ

「PST(プロフェッショナル・スキルズ・トレーニング)」とは専門職が、当事者研究やSSTを用い、ケース検討や援助スキル向上等、北海道浦河べつてるや病院の職員が実践するもので、関東でも、べつてくる向谷地宣明氏を講師に「OST(おいていく・スキルズ・トレーニング)」という会を始めました。当分科会では、PSTワークショップを行い、参加者の皆が日々を振り返り、リカバリーって素晴らしいと再確認する場にしたいと思います。

向谷地宣明(べつてくる・浦河べつてるの家)、木村純一(べつてくる)、白江香澄(NPO法人ふらじやいる・精神保健福祉士)、中島裕子(訪問看護ステーションKAZOC・看護師)、斉藤剛(就労B型レジネス・社会福祉士)

21

公募企画 働き続けるための支援策 ～私たちはこうしています～

シンポ
ジウム

精神障害者雇用が急速な勢いで拡大している一方で、長続きしないという雇用者側の声もあります。しかし、長年精神障害者を雇用し、当事者が継続して働き続けている職場は数多くあります。この分科会では、働き続けるための支援をテーマに、雇用者、就労支援機関、当事者の皆さんから、どうすればいいかを語ってもらい、そのノウハウを共有します。

保坂幸司&金塚たかし(NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク)、企業の人事担当者、働いている当事者

22



1 参加登録 *電話でのお申込はお受けいたしませんので、あらかじめご了承ください

● ウェブサイトにアクセス&参加申込み *クレジットカードによるお支払が可能です

リカバリー全国フォーラム2015
<http://V3.apollon.nta.co.jp/recovery2015/>

事前参加・宿泊等の申込み・お支払い

申込み完了

お問い合わせ 日本旅行千葉支店「リカバリー全国フォーラム」係
TEL: 043-227-2307 FAX: 043-225-2241 平日 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝日休業)

● ファックス・郵送

裏表紙の
申込書に記入

お支払い

FAX・郵送

申込み完了

参加申込み期限:
平成27年7月31日(金)

振込先

*恐れ入りますがお振込手数料は
お客様にてご負担ください

郵便振替 00230-2-116537
リカバリーフォーラム

参加費・お弁当代・懇親会費・宿泊費・
賛助会費・ご寄付の代金をお振込みの上、
申込書をお送りください。

郵送先

〒272-0031
千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
NPO法人コンボ「リカバリー全国フォーラム事務局」
(担当: 桶谷・秋山)

FAX 047-320-3871

2 参加費

種別	事前登録	当日参加	1日参加
一般	9,000(7,000)	10,000(8,000)	—
学生	5,000(3,000)	6,000(4,000)	—
家族	4,000(2,000)	5,000(2,000)	3,000
当事者	3,000(1,000)	4,000(1,000)	2,000

*カッコ内は賛助会員割引料金。
賛助会員のお申込みをされた場合は、
賛助会員の参加費が適用されます

*団体賛助会員の場合は、
会費納入人数分のみ
賛助会員料金が適用されます

*キャンセルされた場合でも、
参加費は返金いたしませんので、
ご注意ください

3 分科会

ご希望の分科会の番号を申込書にご記入ください。
先着順にて受付します。

*トークライブ・記念講演・シンポジウムについては、
全体会ですので 特にご記入の必要はありません。

4 お弁当

申込書のお弁当欄にご記入ください。

● 料金: 1,000円 (税込)

- * お肉 (鶏肉) とお魚が選べます
- * 食堂・教室で召し上がれます
- * 日替わり。お茶付き

5 懇親会

申込書の懇親会欄にご記入ください(先着200名)。 *当日受付は行いません

- 懇親会: お一人様 4,000円 (税込)
- 日時・場所: 平成27年8月21日(金) 午後6時15分~午後8時15分
- 会場: アカデミーホール (東京都豊島区東池袋 1丁目 30-6 セイコーサンシャインビル)

6 ご寄付

● リカバリー全国フォーラム2015の運営費にあてるため、ご寄付をお願いしております。

- * 申込書のご寄付の欄に金額をご記入し、参加費等と一緒に振込みください。
- * 寄付をいただいた方にはお礼として、特典を設けております。詳細はお電話、あるいはコンボホームページ (<http://comhbo.net>) にてご確認ください。
- * 寄付をいただいた方のお名前をウェブサイト等に掲載してよいか、申込み用紙の該当欄にご記入ください。

● Tシャツ募金も実施中です。<http://comhbo.net/>からお申込みください。

7 ご宿泊

宿泊確保日：平成 27 年 8 月 20 日（木）～平成 27 年 8 月 22 日（土）
 宿泊料金：1泊・朝食・サービス料・消費税込み（お一人様の料金）

宿泊施設	部屋タイプ	宿泊料金(朝食付)	アクセス
第一イン池袋	シングル	11,440円	JR池袋駅(東口)徒歩3分
ホテルグランドシティ	シングル	11,200円	JR池袋駅(東口)徒歩5分
	ツイン	7,700円	
アークホテル東京池袋	シングル	12,520円	JR池袋駅(東口)徒歩6分
	ツイン	8,200円	

1. ツインルームは2名様でのお申し込みとなります(同室者名も申込書にご記入ください)
2. 禁煙・喫煙ルームをご希望の場合は、備考欄にその旨ご記入ください
3. お申込受付順に手配いたします。ご要望に沿えない場合もございますのであらかじめご了承ください

8 当日の案内

● ウェブ上でお申込みの方

ご登録いただいた際の「ご請求書」が登録確認書を兼ねております。
 印刷された「ご請求書」をご持参の上、
 大会当日「事前受付」にお越しください。

● F A X・郵送でお申込みの方

リカバリー全国フォーラム事務局より「参加確認書」をお送りいたします。
 そちらをご持参の上、大会当日の「事前受付」にお越しください。

9 変更・取消

- ウェブサイトからお申し込みいただいた方は、ウェブサイトから変更・取り消しをお願いします。
- FAXにてお申し込みいただいた方は、リカバリー全国フォーラム事務局まで、FAXにてご連絡ください。
- 電話での変更・取り消しはお受けできませんのでご了承ください。
- 振り込みいただいた代金(宿泊費以外)の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

宿泊取消料 ※返金はフォーラム終了後となります。振り込み手数料はお客様負担になります。

取消区分	21日前まで	20日～8日前	7日～前日	当日・無連絡
取消料	無 料	10%	20%	100%

10 アクセス

帝京平成大学(池袋キャンパス・本館)
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目51-4

- JR『池袋駅』東口から徒歩 12 分
 - 東京メトロ有楽町線『東池袋駅』から徒歩 10 分
 - 都電荒川線『向原駅』から徒歩 10 分
- ※ お車でのご来場はご遠慮願います（駐車場はありません）。



《国内募集型企画旅行ご旅行条件書(抜粋)》この宿泊案内(書面)は、旅行業法第 12 条の4に定めるところの取引条件の説明書面及び同法第 12 条の5に定めるところの契約書面の一部となります。詳しい旅行条件は、<https://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2015/> でご確認のうえお申し込みください。●個人情報の取扱いについて 当社は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。なお、当社グループ会社の名称及び各会社における個人情報取扱管理者の氏名については、当社のホームページ (<http://www.nta.co.jp>) をご参照ください。●募集型企画旅行約款について 書面の条件書に定めない事項については当社旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。当社の旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。当社旅行業約款は、当社ホームページ (<http://www.nta.co.jp>) からご覧いただけます。●その他旅行条件及び旅行代金算出の基準日は、2015年6月8日を基準にしております。

お問合せ



COMHBO 特定非営利活動法人
 地域精神保健福祉機構
 COmmunity Mental Health & welfare Bonding Organization

「リカバリー全国フォーラム事務局」(担当：桶谷・秋山)

TEL：047-320-3870 FAX：047-320-3871

営業時間 月～金 9:30～18:00 (土・日・祝祭日休み)

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F

リハビリー全国フォーラム2015申込書

申込締切日：平成27年7月31日(金)

◆「ウェブサイト」からの参加申込み・宿泊予約が可能です ▶ <http://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2015/>

■ 太枠内は全てご記入ください

■ お一人様1枚ご記入ください(不足の場合はコピーしてください)

申込日 年 月 日

参加者名(フリガナ)	年代	e-mail	<input type="checkbox"/> お知らせメール便登録済
	歳代		

参加証等送付先 ※FAX・郵送でお申しいただいたお客様のみ 初参加の方は✓を付けてください

送付先名:

送付先住所: 〒

TEL:

FAX:

このフォーラムを何で知りましたか? こころの元気+ 開催案内 メール ホームページ その他()

所属
該当に○

01 福祉サービス事務所 02 グループホーム 03 企業 04 就業・生活支援センター 05 保健所
06 デイケア 07 精神保健福祉センター 08 行政(国・都道府県) 09 行政(市町村) 10 病院 11 診療所
12 ハローワーク 13 福祉事務所 14 家族会 15 当事者会 16 その他() 17 なし

職種
該当に○

01 職員・世話人・相談員 02 管理者 03 医師 04 OT 05 心理士 06 精神保健福祉士 07 ピアスタッフ
08 保健師 09 看護師 10 職業相談員 11 事務職 12 当事者 13 ボランティア 14 家族 15 企業
16 研究者 17 ホームヘルパー 18 その他()

参加区分
該当に○

一般の方 1.一般(9,000円) 2.学生(5,000円) 3.家族(4,000円) 4.当事者(3,000円)
賛助会員の方(賛助会員割引) 5.一般(7,000円) 6.学生(3,000円) 7.家族(2,000円) 8.当事者(1,000円)
賛助会員番号:
1日だけ参加の方(賛助会員以外の家族・当事者限定) 8月21日に参加 8月22日に参加 家族(3,000円) 当事者(2,000円)

分科会
番号記入

8/21(金) 第1希望 第2希望 第3希望 ※希望分科会の番号を記入
21日(金)、特別セミナー希望者は、「特」をご記入ください
8/22(土) 第1希望 第2希望 第3希望 申込状況によりご希望に添えない場合があります

お弁当

該当項目に○ (各1,000円): 1.8月21日・肉 2.8月21日・魚 3.8月22日・肉 4.8月22日・魚

懇親会

該当項目に○ 8月21日の懇親会に 1.参加する(4,000円) 2.参加しない

宿泊 1名様料金

ご希望の方は該当項目に○印を付けてください。(朝食付・税込)

8/20(木) 第一イン池袋 シングル 11,440円
ホテルグランドシティ シングル 11,200円 ツイン 7,700円 同室者名()
アークホテル東京池袋 シングル 12,520円 ツイン 8,200円 同室者名()

該当に○

禁煙 喫煙
ご希望に添えない場合がございます。

8/21(金) 第一イン池袋 シングル 11,440円
ホテルグランドシティ シングル 11,200円 ツイン 7,700円 同室者名()
アークホテル東京池袋 シングル 12,520円 ツイン 8,200円 同室者名()

性別 男 女

8/22(土) 第一イン池袋 シングル 11,440円

賛助会員・寄付

該当項目に○をつけてください 1.賛助会員(年5,000円)に申し込む 2.寄付する: 円
氏名の公表について(ご寄付をいただいた場合) 参加者名で ペンネーム() 公表しない

合計金額

参加費 円 + お弁当代 円 + 懇親会費 円 + 宿泊費 円 + 賛助会員 円 + ご寄付 円

※申込書は、代金をお振込みの上、FAX:047-320-3871までお送りください。

合計金額 円

◆振込先 郵便振替 00230-2-116537 リハビリーフォーラム ※振込手数料は本人負担でお願いします。青い振込用紙を使用してください

振込人名義:

振込日:平成27年 月 日 領収書宛名(必要な方):

※申込書の個人情報は、各種手配・受領のための手続き、コンボからの各種お知らせ等以外には利用いたしません